

第75回全日本大学バスケットボール選手権大会

大会要項

1. 名称 第75回全日本大学バスケットボール選手権大会
2. 主催 公益財団法人日本バスケットボール協会・一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟
3. 共催 一般社団法人大学スポーツ協会
4. 後援 スポーツ庁（予定）・株式会社朝日新聞社・群馬県太田市
一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団・一般財団法人群馬県バスケットボール協会
5. 特別協賛 三菱電機株式会社
6. 協賛 株式会社モルテン・大塚製薬株式会社・アシックスジャパン株式会社・NBA Rakuten
株式会社オープンハウスグループ
7. 主管 一般社団法人関東大学バスケットボール連盟・関東大学女子バスケットボール連盟
8. 期日 2023年12月2日（土）～12月10日（日）、12月16日（土）・17日（日）
9. 会場 国立代々木競技場 第二体育館・大田区総合体育館・エスフォルタアリーナ八王子・太田市総合体育館
10. 参加資格

- ①公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、JBA）に加盟登録されたチームであること。
- ②JBAに競技者登録された選手であること。
- ③本大会参加大学は、一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟（以下、本連盟）に登録料を添えて加盟登録したものの中から、各地区連盟より推薦された大学とする。
- ④本大会参加大学は、チームスタッフ内にJBA公認C級コーチ以上の資格を有する者を1名以上事前に大会登録しておくこと。試合の際、ベンチで指揮する者は、登録された資格を有するコーチであること。
また、コーチ（指導）実績1年目に限りJBA公認D級コーチ資格でも認める。
- ⑤その他の詳細については、「本連盟主催大会における感染症に対する取り決め」を確認の上遵守すること（別紙参照）。

11. 参加チーム

男子40大学 女子40大学

- ①地区連盟より1大学ずつの9大学を推薦
- ②前年度1位から4位までの地区連盟より1大学ずつの4大学を推薦
男子【一般社団法人関東大学バスケットボール連盟（以下、関東学連）より4大学】
女子【関東大学女子バスケットボール連盟（以下、関東女子学連）より3大学
東海学生バスケットボール連盟より1大学】
- ③開催地区の連盟より1大学を推薦
男子（関東学連より1大学） 女子（関東女子学連より1大学）
- ④残り男子26大学、女子26大学の内訳は次の通り
〈男子〉北海道地区（2）・東北地区（2）・北信越地区（1）
関東地区（7）・東海地区（3）・関西地区（5）
中国地区（2）・四国地区（1）・九州地区（3）
〈女子〉北海道地区（2）・東北地区（2）・北信越地区（2）
関東地区（7）・東海地区（3）・関西地区（5）
中国地区（2）・四国地区（1）・九州地区（2）

12. 競技方法

- ①3チーム毎8ブロック内でリーグ戦（グループステージ）を行い、各試合に勝ったチームに勝ち点2、負けたチームに勝ち点1、各試合の没収によって負けたチームに勝ち点0が与えられる。

勝ち点の大きい順にブロック内の順位を決定する。

グループステージの勝ち点が2チーム以上同じ場合、当該チーム間の対戦における勝ち点の
大なるチームを上位とする。

勝ち点も同じ場合は、当該チーム間の対戦におけるゴールアベレージの大なるチームを上位
とする。

②各ブロック首位チームは、トーナメントに出場する権利を有する。

トーナメントでは、優勝決定戦以外に3位決定戦も実施する。

③試合球については、本連盟指定球を使用する。

【株式会社モルテン社製 BG5000 NEW FIBA OFFICIAL GAME BALL】

(男子は12面体7号球・女子は12面体6号球)

④審判については全試合「スリーパーソンオフィシエーティング」で行う。

13.大会規定

①大会登録

イ. 大会登録は、選手15名以内、スタッフ（部長・監督・コーチ・アシスタントコーチ・
主務・トレーナー他）7名以内とする。但し、部長・監督以外のスタッフの名称は、
各チームによって変更可能である。また、部長が監督を兼務している場合は1名とし
て数える。

ロ. ADカード所持者から当日2名をコンディショニングスタッフとして申請できる。
ただし、ベンチに入ることはできないので、ベンチ後方にてサポートすること。
※練習補助(リバウンド・パス出し)を行うことは可能とする。

ハ. 外国籍選手について、当日のエントリーは2名までとし、競技中コート上で同時にプ
レイできる外国籍選手は1名とする。

※登録変更の締め切りは全大学11月21日（火）までとする。締め切り後の登録変更は
一切認めない。

②ベンチ

イ. ベンチは、大会組み合わせ番号の小さいチームがテーブル・オフィシャル席からコート
に向かって左側とする。

ロ. ベンチにはゲームエントリーされた選手及び登録されたスタッフ以外は入れない。

ハ. 試合においては“10.参加資格④”に該当するコーチ1名以上がベンチ内にいない場合
は原則没収試合となる。また、試合中公認コーチは、JBA公認コーチ証を胸の前に提示
すること。

③ゴール

イ. 第1・第2クォーターのゴールは自チームのベンチ側とし、第3・第4クォーターおよ
びオーバータイムのゴールは相手チームのベンチ側とする。

④練習

イ. ゲーム開始前のウォーミングアップは自チームのベンチ前のハーフコートで行う。

ロ. ハーフタイム時のウォーミングアップは、相手チームのベンチ側とする。

⑤ユニフォーム

イ. ユニフォームは、組み合わせ番号の小さいチームが淡色（白色）、大きいチームが濃色を
着用する。但し、2戦目からは当該大学間での話し合いにより大会本部の了承を得た上
で変更してもよい。

ロ. ユニフォームの番号は、1番から99番までと、0番及び00番を同時に使用すること
ができる。

ハ. 大会登録の際、主将（キャプテン）を一番前に置く。その他の記載順については番号順
とする。

- ニ. 直立の姿勢でユニフォームの襟や肩から上半身用のアンダーウェアがはみ出すことは認めない。
- ホ. ユニフォームのシャツからはみ出してしまうアームスリーブ[腕用のサポーター(パワー・サポーター、パワー・スリーブなど、通常のサポーターも含む)]及び脚のコンプレッションスリーブを着用する場合、ユニフォーム上下と同じ主となる色もしくは黒色か白色のものを着用する事。
但し同じチームのプレイヤーは同じ色を統一して着用しなければならない。
- ヘ. やむを得ない事情により上記を遵守できない場合は、事前に本連盟に申請し、許可を得ること。
- ト. ソックスは、チームの全選手が同じ主となる色でデザインされたもので、試合中見える状態でなければならない。
- チ. パンツの長さは膝上までとし、膝頭にかかってしまうパンツはユニフォームとして認められない。

⑥棄 権

- イ. やむを得ない理由で棄権を申し出る場合は、該当試合の前日24時(深夜0時)までに連絡をすること。本連盟が承諾したのち、本連盟から相手チームへ連絡する。
※該当試合当日の棄権申請については速やかにその対応につとめる。
- ロ. 大会期間中に運営上支障を来す事態と判断された場合には、専務理事が招集する会議にてその処置・対応について審議する。

⑦メンバー表

- イ. メンバー表は、大会指定用紙を使用し、各チーム当該試合の試合開始30分前までに、大会本部に提出すること。
- ロ. 提出メンバー表の備考欄に、外国籍選手は「外国籍」と記入すること。

14. そ の 他

- イ. 試合が定刻通りに終わらなかった場合は、試合終了後原則15分後に次の試合を開始する。
- ロ. 本大会の男子優勝チームと準優勝チームの地区連盟から1校を来年度開催される本連盟主催大会「World University Basketball Series 2024」の招待チームとして推薦する。

全ての問題については、本連盟の判断を最終決定として指示に従うこと。

上記以外のルールは「2023バスケットボール競技規則」「一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟定款・基本規定」を適用する。その他、社会的状況、行政指導、または、JBAからの指示等によって一時中断または大会を中止する場合がある。